

添削者の心得

- 1.構成ルール
 - 2.感情的価値観
 - 3.褒めちぎる
 - 4.タイムマネジメント
-

1.構成ルール

添削はしすぎたら自分の文章になってしまいます。

- 最低限ライティングマニュアル通りかけてるか？
- 構成のルールは守れてるか？

記事としての形ができるようにしてあげるのがまず一番となります。見出しとか改行とか、読みやすいように「構成」を教える。これが1記事目や2記事目を書いている人はわかりません。

見出しがプレビューで変わる??

テキスト形式って何のこと?

改行にルールってあるん?

タイトル文字は28字~32字以内?

文字の装飾って何?何それ美味しいの???

引用?参考?画像てどうやって入ってるの?

アイキャッチ?目で何かを受け取れって事??

パーマリンク??頭をパーマしないとイケないの??

添削者のみなさんも1記事目書いた時を思い出してください。

「今あたり前にできること」

がちよっと前はできなかったはずです。

私はほぼ動画で説明してますが、いきなり全部できる天才はいません。

私自身最初は何度も動画をみて手を動かして覚えていきました。

この辺りは実際に手を動かして覚えた方が早いことは皆さんもご承知だと思います。

2.感情的価値観

次に大事なことは、**感情的価値観を教えること**です。
初心者の方は、キーワードで調べたら機能面ばっかに目が行くはずで
す。
そして、とりあえずはwikipediaに出てきた内容とか数字を並べて機能
面を全面に押し出していきます。

これが初心者の思考です。
コピーライティング知らない人達です。
コピーライティングに必要な知識とどれだけ記事を書いたかという経験
がないから当然です。
だから、私は各動画を何回も見てくださいと言っています。
一回言っても真面目に聞く人は100人いて2人いるかいないかです。
殆どの方はマニュアル見ない、動画見ないまま記事を書いてきます。
そのため、重要なことは何度も言うのです。
それらが記事作成者の体に染み込むまで何度も。
コピーライティングの場合は感情的価値観が一番大切です。
ここがないと本当に読者が共感してくれる記事にはなりません。
なので私は最近添削の様子を動画にして伝えております。
中一変換もマニュアルのいろんなところに書いてます。
そして中一変換もチャット内を見るといろんな所に散りばめておりま
す。

これめちやくちや大事ですよ。
必ずキーワードライバルチェックをした上で、BAFの順番、感情的価値
観の大切さを中1言語変換で伝えます。
中1言語変換は初心者に教える時に必須スキルになります。
これが、コピーライティングの全てだと何度も言う必要があります。
中一変換で思いつかない場合は添削者チームチャットで相談してくださ
い。
そうしたら私の方で何か出ないか考えてアイデアを出します。

それをそのまま作成者に伝えたら添削者の皆さんのことを尊敬の眼差しで見られるようになります。

ただ、私に依存しすぎてもダメです。それでは成長しませんので、自分の力である程度は考えてみてくださいね。

3.褒めちぎる

共感ポイントを伝え

「ここに私は共感しました」

と言って教えてあげることも大事です。

そして、今までそんな褒められたことがないくらい、

「その人の生涯で一番その人を褒めた人になれるくらい」

相手を認める。

できればプロフィールを見て相手の人生経験に即した内容でというのが理想です。

そうして言われた方は「あたしのプロフィール見てくれてる」と二重で嬉しくなります。

これはかなり効果的ですよ。

というか毎回使って欲しいです。

速攻であなたのことを信頼してくれます。

相手のことを知ろうとしてることを、添削という間接的メッセージで伝える。

これを「ヒドウンメッセージ」といいます。

隠されたメッセージです。心理学の一種になります。

例えば、「勉強しなさい！」と直接言うのではなく、「OOちゃんの夢はyoutuberだったよね。youtuberになるには知識を持っていたら人気者になれるよ」という方法を使うのも1つの手です。

これは子育てにも使えます。「ベビーゲート買って」ではなく、間接的に「この前ネットニュースで出てたけど子どもが鍋をひっくり返して大火傷を負ったんだって。OOちゃんもたまにキッチンに入ってきてるからそろそろ危ないと思うよ。ベビーゲート必要だよ。」と伝える。私はよくベビーゲート閉め忘れてて妻に怒られます（笑）

直接より、間接的に言う方がいやらしくないですよ。

もちろんやんわり修正も忘れないでください。

「ホメホメサンドイッチ」の徹底

褒める→やんわり修正→褒める

添削の評価例

お疲れ様です。

全く知らない分野で記事を書かれていますので、リサーチに時間がかかるのは当然ですよ(^_^)

それでいて充実した内容で仕上がってきますので私はかなり驚いています！アドバイスをさせてもらうとしたら、今は修行中と思ってください(笑)

今、詳しくない分野で試行錯誤しながらリサーチして記事に仕上げていることは、着実にOOさんの力になっていっています。これが後から一気に開花します！必ずです(^_^)

添削者になると今運営している分野に自由に行き来できるようになります。

そのときに今リサーチに苦勞している経験が役に立つというか、「こんなに楽だったんだあ〜」となります(^_^)

今は色々試しながら苦勞してください(笑)OOさんの記事ならあと数記事で添削者への声がかかると思いますよ、(^o^)

一応私の流れを紹介しておきますね。参考になればしてください。参考にしなくてもいいです(≥▽≤)

1、キーワードを決めたら「読者は何が知りたくてそのキーワードで検索しているのか」を考えてメモに書き出す。

2、実際にキーワードを検索して上位ランクの記事がどんな内容なのかと、文字数を確認する。上位の記事に足りないことも考えておく。

3、記事を書く前に見出し2を全て考える。

(今回のOOさんのキーワードで例えると)

・海のルアー釣りで釣れない原因とは？(魚の習性を知らない、潮のことを知らない)

・魚の習性を知ろう！(夜行性？、昼行性？、捕食ターゲットは？)

・潮に詳しくなろう！(大潮と小潮どっちが釣れる？干潮と満潮どっちが釣れる？)

・こんな魚だったら簡単に釣ることができる！(根魚に潮は関係ない→カサゴがおすすめ)

・まとめ

4、構成と見出しを決めたら、「見出しごと」に分からないことをリサーチする。
こんな感じですね。

私は実際に魚釣りをしますので、今のをパッと思いついて書くのに3分程度です。OOさんは詳しくないのでもっと時間がかかって当然です。

次に見出しごとのリサーチも私はもともと詳しいので確認する程度です。そこでも差がでてきます。

なのでOOさんが今時間がかかってしまうのは当たり前なことだと割り切って頂ければと思います(^^)

記事の内容もアイキャッチ画像もかなりレベル高いですよ。まずは添削者目指して頑張ってください！

ちなみに私は頭で考えるのが苦手なんで、マインドマップというやつをメモがわりに使ってまとめています。

最初のころはトレロにメモってましたが、しつこりこなかったの・・・。

それでは修正後の再納品お待ちしております。記事タイトルの頭に（修正依頼）と書いときますので、修正後、（再納品完了）と付け加えた上でまた連絡ください。楽しみにお待ちしております！」

注意点

- 褒める
- 共感していることを伝え褒める
- 相手のプロフィールから日常を調査し褒める
- 絵文字をできるだけ多用し接しやすくして褒める
- 納品してくれたこと、添削させていただくことに感謝を忘れずに褒める
- 褒める褒める褒める

この辺りが重要になってきます。

これも感情を出す練習になりますよ（^^）

4.タイムマネジメント

衝撃的な修正が必要な場合は再納品を依頼。

目安は1時間で添削できるかどうか。

理想は10分程度で添削ですが、ここまで行けるのは添削者同士の添削になります。

一般の記事作成者を対象にする場合は1時間以内で添削を終えることを意識してください。

自分の添削時間を1時間でできるようにタイムマネジメントする。

添削し過ぎには注意。

気づいたら2時間以上添削してたとかならないように注意。

(慣れるまでの間は良いことです)

最後に暗記しよう！

添削者の心得！

- 1.構成ルール
- 2.感情的価値観
- 3.褒める
- 4.タイムマネジメント

～参考～

この前小泉純一郎総理が郵政民営化を進めてた時の街頭演説を聞いてました。やはり人を動かす力を持った人の話はわかりやすくそして聴衆に響く何かがあります。

小泉さんの場合は郵政民営化を推し進めてた時が一番わかりやすいので、参考動画を貼り付けておきます。

典型的な扇動の型です。

[郵政民営化進めてた時の演説その1](#)

[郵政民営化進めてた時の演説その2](#)